



にしかん

第358号

令和4年(2022年)

3月6日

毎月第1・3日曜日発行

【編集・発行】新潟市西蒲区役所 地域総務課
〒953-8666
新潟市西蒲区巻甲2690番地1
電話 0256-73-1000(代表)
FAX 0256-72-6022

＜西蒲区ホームページ＞
<http://www.city.niigata.lg.jp/nishikan/>

● 西蒲区データ 人口 54,968人 (-75) 世帯数 20,770世帯 (-4) 男 26,641人 (-33) 女 28,327人 (-42)

※1月末現在の住民基本台帳。
カッコは前月末比

これからの人生を豊かにする

令和3年度
西蒲区男女共同参画地域推進員企画事業

問い合わせ
地域総務課企画・文化スポーツグループ
(☎0256-72-8102)

終活を考えてみませんか

終活について考えたことがありますか。将来誰もが自分の事になる終活について、角田山妙光寺の前住職である小川英爾さんを講師に招いて話を聞きました。この事業を企画した西蒲区男女共同参画地域推進員と、本事業のアドバイザーであるNPO法人扉の指田祐美さんが小川さんから聞いた内容を紹介します。



講師紹介

角田山妙光寺 前住職
小川 英爾さん



必ずしも後継者を必要としない墓「安穩廟」を永代供養墓として、平成元年全国に先駆けて開設。散骨・樹木葬など墓の形や、家族葬など葬送が変化するきっかけになった。以来30年間、墓と家族の問題を各地で講演。

男女共同参画地域推進員

男女共同参画社会の実現に向け、市と連携して活動。本事業を企画。

＜西蒲区男女共同参画地域推進員＞

- ・小島 貴子さん (写真左手前)
- ・高木 一人さん (写真左手前から2番目)
- ・廣川 吉浩さん (写真右端)

＜本事業のアドバイザー＞

- ・指田 祐美さん (写真右から2番目)



小川さんとの対談の様子

終活はいつ始めるべきか？

高木さん (推進員)

定年退職など仕事を辞めてすぐでは、終活はまだ早いとも思いますが、避けられないことでもあります。早めに始めるべきでしょうか。

小川さん (講師)

私の場合、65歳で住職を引退しました。夫婦で少しのんびりしようと言っていたところ、50代の妻に胃がんが見つかり、2年後に他界しました。

立場上、たくさんの方の遺族の悲嘆を見てきています。そこで、自分たちの時はどうしたいか夫婦で話し合っていたのです。1周忌を終えた今、寂しさはありますが悔いはありません。何か吹っ切れた気もします。人の死亡率は100%。人生長い人、短い人いろいろです。

妻に先立たれた夫は3年、その逆の場合妻は21年生きるとの話もあります。最近の若い世代は変わってきましたが、今の高齢者世代は夫が残されると毎日の食事からごみ出し、近所付き合いなど困ることだらけ。また、男性は退職すると一気に世界が狭くなる。昔のような地域や親戚との交際も減りました。その点女性は男性と違い、役職や肩書がなくても周囲に溶け込みやすい。一般的に妻の方が長生きすると思込んでいる男性が多いのですが、男女共に寿命が延びた今それは間違いです。男性は妻に先立たれることも想定しないとなりません。

終活における男女の違い

小島さん (推進員)

終活において、男女の違いはありますか。

小川さん (講師)

終活ノートが一時期ブームで、県内でも市民に配布する自治体が増えてきました。でも、実際に書いている人は5%ほどで、女性の方が多いといわれています。お墓や葬式の事前契約などの相談で、私のところへ来る人も女性が多いです。

女性は結婚で生家を離れ、姓が変わる人が大半の現状です。家を出る、家族から離れることでいわば自立の覚悟ができる。また、妊娠時は自分の一部だった子どもが、産まれ、成長する課程で別離を実感する。男性にはありません。だから女性はもしもの時にどうなるか、考えるようですね。

終活は縁起が悪いことではない

高木さん (推進員)

家族と話すことも大事ですね。

小川さん (講師)

自分の終わり方について家族と話し合うことは、決して縁起が悪いことではありません。むしろ積極的に、正月やお盆などの際に話してはどうでしょうか。病気によっては病状説明を直接聞きたいか、胃ろうを望むか、延命措置はどうするか、もしもの時の連絡先名簿など、健康なときにこそ、その時点の自身の希望を伝えておくこと家族はとても助かります。

本人と家族は延命措置をしないと決めてあったのに、遠方の親戚が来てもっと治療をすべきだと言って聞かなかったという話はよくあります。私の妻のときも、ある時点で本人と同居の私たちが相談し、効果も望み薄なら辛い抗がん剤はここで止めると決めました。ところが県外の娘たちが納得しません。主治医が代わって説明してくれたのですが、しっかりした話し合いのもとで本人の意思が固まっていたからできたことでした。

空き家について

廣川さん (推進員)

周りに空き家が目立つようになってきました。私の家も将来どう処分すべきか悩んでいます。

小川さん (講師)

以前は〇〇家先祖代々といった“イエ”が社会の単位でした。今は法律も変わり個人の時代です。そのため“イエ”が続かず、家屋も守られなくて放置されてしまいます。人口の都市集中もあります。その結果、空き家の増加が社会問題となっています。地域の土地利用や税制といった制度面の課題もあるので、解決には行政の力が必要です。

一方で核家族化も進み、新しい住宅が次々と建てられて、人口が減少しても世帯数は増加傾向です。西蒲区には築100年といった、いわゆる古民家がたくさんあります。これからの時代、これらをリフォームして住む考えもあってよいのではないでしょうか。越前浜や角田浜ではこうした取り組みが活発です。ローンを抱えての家の新築も難しい時代が来ます。空き家を所得の低い人たちに安く貸して、貸主・借主双方に喜ばれている団体も全国で生まれています。こうした知恵をどんどん広めるべきだと思います。

家族と意思疎通を

指田さん (アドバイザー)

お墓についてはいかがでしょうか。

小川さん (講師)

少子化によって、家族の墓を継承していくことが難しくなりました。当然、墓の形も変わってきます。私が全国に先駆けて、跡継ぎを必要としない墓を作ったのもそのためです。

指田さん (アドバイザー)

妻が夫の家の墓に入りたくないというケースもあるようです。

小川さん (講師)

土葬の時代の墓は1人1つでした。それが火葬が普及した明治時代後半から、家に1つになったのです。現在の法律では、入る墓は本人の意思で決めることになっています。もめたら慣習で決める、ともあるのですが、法的には財産相続は「遺言書」、葬儀や墓の希望は「祭祀相続の指定」と分けられています。

ですが、たとえ自分は散骨してほしいと家族に伝えていても、家族は慣習を優先して墓に入れるかもしれません。結論だけでなく、「なぜそうしたいのか」という思いの背景を伝え、家族の希望も聞きながら話し合うことが大切です。家族の判断材料を残しておくことです。双方の納得が、今の安心と死後の安らぎにつながるのだと思います。もしものときにあなたはどのようにしてほしいか、家族はどのようにしたいか、意思疎通が明確になっていること。それが終活の最も重要な部分です。

終活に限らず、「もしも」に備えるノート『おもいをしるす』(西蒲区自治協議会作成)を地域総務課の窓口

に設置しています。終活の第一歩として、区役所に来た際はぜひ持ち帰って活用してください。





新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、掲載したイベントは急きょ中止となる場合があります。感染症予防のため、3密（密集・密接・密閉）の場所の回避、こまめに手洗い・手指消毒を行う、飛沫防止のためにマスクを持参し着用するなど「新しい生活様式」の実践をお願いします。

まちで話題の人

刀鍛冶の技を生かした鍛冶職人

袖山 一敏さん

袖山さんは、70年以上にわたって包丁などの家庭用刃物や鎌などを製造してきました。90歳を目前にした今も現役で製作を行っており、その作業場に取材に伺いました。



農業で使う鎌やくわなどを製作していた父の下で、鍛冶の仕事をはじめた袖山さん。20代の頃、三条の日本刀展示会で目にした刀に一目ぼれし、刀鍛冶の技術を学びたいと強く思うようになりました。そこで、自分で県内の刀鍛冶職人を探して弟子入りし、10年以上にわたる修行の末、県内でも数人しか持っていない刀鍛冶免許を取得したそうです。その後は、数々の刀剣展覧会で入選しています。

苦勞して身に着けた刀鍛冶の技術は、それまで作っていた家庭用刃物などの製作にも生かせるものでした。袖山さんの作る刃物は切れ味抜群で長持ちすると評判で、地元がつかない縁もあり、数年前からは有名ブランドともコラボレーションしています。

取材の際、袖山さんは、刀の魅力や鍛冶仕事の苦勞などを、作業場を案内しながら語ってくれましたが、苦勞を語っている時どころか楽しそうに見えました。貴重な技術を生かした製作についても「体が動く限り作っていきたい」と話す姿に、職人の気概を感じました。



▲袖山さんが作った包丁など。火入れに使う炭からこだわって自分で作り、全て手作業で作り上げたものです。



▲島工業団地内にある作業場は、旧竹野町小学校を移築した建物とのことで、高い天井と太いはり特徴的。壁には、これまで作った製品の型などが数多く並びます。

無料で気軽に勉強の仕方を学びませんか

「子ども学習会」参加者募集

小学5・6年生と中学生を対象に、大学生が個別に勉強の仕方を教える「子ども学習会」を開催しています。一緒に予習や復習に取り組むだけでなく、高校進学のための相談にも応じます。

Table with columns: 開催期間, 日時, 会場. Details: 令和4年4月中旬～令和5年3月末, 毎週土曜午後2時～5時, 西区坂井輪地区

※原則として上記日程ですが、日曜午後2時～5時にも開催しています。希望する人は相談してください

対象 市・県民税の所得割が課税されていない世帯の小学5・6年生および中学生 若干名 ※応募多数の場合は抽選

申し込み 3月18日(金)必着で、申込書に必要書類を添えて健康福祉課保護係(〒953-8666 西蒲区巻甲2690番地1)へ提出してください。

※申込書は健康福祉課保護係、西川出張所、潟東出張所、中之口出張所、岩室出張所の窓口に設置しています

※締切後に応募を希望する人は、健康福祉課保護係へ問い合わせください 問い合わせ 健康福祉課保護係 ☎0256-72-8395

西川総合体育館 春期(4月～6月)スクール参加者募集

所要時間 各1時間(いずれも全10回)

☑15歳以上の人(中学生を除く)

☑各スクール1回520円 ☑電話で同館 ☎0256-78-7258へ

Table with columns: 曜日, スクール名, 開始時刻, 定員. Lists activities like 'かんたん!エアロ&ピラティス' and 'ボディケア&リズムエクササイズ'.

※その他多数のスクールを開催しています



火災の発生を素早く知らせるのがぼくの仕事!

住宅用火災警報器はあなたの命を守ります!

深夜、就寝中に火災が発生したとき、多くの人が逃げ遅れ、亡くなっています。就寝していても火災に気付くことができるよう、平成23年6月1日から全ての住宅に住宅用火災警報器を設置することが義務付けられました。自分自身や家族の命を守るために、まだ設置していない人は近くのホームセンターや電気店で購入し、早急に設置してください。



設置が必要な場所

設置場所:全ての寝室

※寝室が2階以上にある場合は、階段の上部にも設置が必要です

※資格は必要なく、ドライバー1本で簡単に取り付けできます



設置後の維持管理について

リチウム電池の寿命は約10年といわれています。古くなると本体も劣化してしまうため、新潟市消防局では10年を目安に本体の交換を勧めています。

■日頃の点検

定期的に点検ボタンや点検用のヒモを引くなどして、正常に作動するか確認しましょう。

異常がある場合は、購入した販売店やメーカーのお客様相談室などに相談してください。



取り付けサポートについて

「住宅用火災警報器の取り付け方法がわからない」、「難しく困っている」という高齢者世帯には、消防職員による取り付け作業の代行も行っています。気軽に相談してください。

問い合わせ 西蒲消防署市民安全課 ☎0256-72-3309



《広告欄》西蒲区役所ホームページに掲載するバナー広告を募集中! ☎地域総務課(☎0256-72-8179)



令和4年度 交通災害共済加入者募集

交通災害共済は、交通事故にあった場合に見舞金が支給されるもので、県民一人一人が助け合う相互共済制度です。

- 事前申込期間 令和4年3月31日(木)まで
- 共済期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年間)
※4月以降に申し込みの場合、その翌日から令和5年3月31日まで
- 会費 1人500円(1年間)
- 申し込み 加入申込書(自治会・町内会に配布)に必要事項を記入し、自治会・町内会経由で地域総務課地域・安心安全グループへ
※ゆうちょ銀行を除く金融機関、区役所地域総務課、各出張所窓口でも申し込みをすることができます
- 問い合わせ 地域総務課地域・安心安全グループ(☎0256-72-8143)

令和4年度 市営巻駐車場利用者募集

令和4年度の市営巻駐車場利用者を募集します。詳しくは問い合わせてください。

- 対象駐車場 巻駅前駐車場(65台)、巻本町通り駐車場(29台)
※申し込み多数の場合は抽選
- 利用期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年間)
- 利用料 1カ月4,200円
- 提出書類 新潟市巻駐車場利用許可申請書(地域総務課に設置)、自動車車検証の写し
- 申し込み 3月16日(水)までに、直接地域総務課地域・安心安全グループ(☎0256-72-8143)へ

お知らせ版

- 日=日時 場=会場 内=内容 人=対象・定員
- ¥=参加費(記載のないものは無料) 問=問い合わせ
- 申=申し込み(記載のないものは申し込み不要。当日直接会場へ)

新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載した催しなどが中止となる場合があります。開催については事前に主催者へ問い合わせてください。感染症予防のため、催しなどに参加する際はマスクを持参し着用してください。

子育て(子育て支援センター・児童館)

とろとろ広場(世代交流館 どんぐりの舎内)
☎0256-72-6240

●リトミック親子遊び
☎3月15日(火)午前10時半～11時
講師 藤村ようこさん(リトミック講師)
☎先着10組程度
☎3月8日(火)から直接または電話で同センターへ

ほかほかコアラ(岩室保育園内)
☎0256-82-2900

●育児講座「大きくなったね」
☎3月17日(木)午前10時～11時
講師 関崎智弥さん(教育カウンセラー)
☎先着5組
☎直接または電話で同センターへ

さくらんぼ(中之口こども園内)
☎025-375-5690

●大きくなったねの会
☎3月16日(水)午前11時～同20分
☎先着5組
☎直接または電話で同センターへ
●なっちゃん先生のリズム運動遊び
☎3月18日(金)午前10時半～11時
講師 下田奈津美さん(ダンスインストラクター)
☎先着5組

☎直接または電話で同センターへ
●リズム遊び
☎3月23日(水)午前11時～同20分
講師 横山香代子さん、坂井かよこさん
☎先着5組
☎直接または電話で同センターへ

かるがも広場(鎧郷保育園併設)
☎0256-88-2286

オンライン相談(ZOOM)と「おはなしの会」の動画配信を行っています。どちらも事前予約が必要です。詳しくは、鎧郷保育園ホームページを確認の上、同ホームページの「お問い合わせ」から申し込みをしてください。

ひよひよ(かたひがし保育園内)
☎0256-86-2023

●みなみっくる(病児保育)説明会
☎3月16日(水)午前10時半～
☎先着7組
☎直接または電話で同センターへ
●ベビーマッサージ
☎3月17日(木)①午後1時半～、②午後2時半～
講師 鷲尾智恵子さん(助産師)
☎各回先着5組
☎直接または電話で同センターへ

トマトくらぶ(めぐみこども園併設)
☎0256-78-8817

令和3年度 西蒲区自治協議会

2月24日(木)に予定されていた西蒲区自治協議会は中止となりました。次回の第9回西蒲区自治協議会は次のとおり開催予定です。

- 次回開催
☎3月16日(水)午後から 場新潟市立総合教育センター
場地域総務課地域・安心安全グループ(☎0256-72-8156)
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、書面開催または中止となる場合があります

統計調査の登録調査員募集

各種統計調査で活動する登録調査員について以下の通り募集します。



- 内容 調査対象の世帯や事業所への訪問、調査票の配布・回収・点検など
- 募集人数 20歳以上の人 若干名
※調査員としての実際の従事時期や期間は未定です
- 応募条件
 - ・税務、警察、選挙に直接関係のない人
 - ・暴力団員、その他反社会的勢力と関係のない人
 - ※守秘義務があり、調査で知り得た内容を他に漏らすことは禁じられています
- 報酬 各調査終了後に支払い
※調査により報酬額は異なります
- 申し込み 電話連絡のうえ、直接地域総務課総務・管理財務グループ(☎0256-72-8179)へ
※面接を行い、登録採用を行います

●おやこ体操
☎3月9日(水)午前10時半～
講師 めぐみこども園体操講師
☎先着4組
☎直接または電話で同センターへ

●みんなで楽しい音楽遊び
☎3月15日(火)午前10時半～
☎先着4組
☎直接または電話で同センターへ

おそびの山(岩室地域児童館)
☎0256-82-2169

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当面の間、通常と異なる利用方法とします。詳細はホームページで確認してください。ご理解とご協力をお願いします。

●おうち時間プラス「もうすぐ春ですね。卒業・卒園の記念に似顔絵ギフト」
卒業や卒園などの節目を迎える3月に、記念として似顔絵を作ってみませんか。家族の似顔絵を漫画家のイニスケさんが描きます。

受け渡し 3月21日(祝)～27日(日)随時
☎色紙サイズ 1枚500円、A4サイズ 1枚1,000円(額付き) ※いずれも1枚4人まで
☎3月13日(日)までに、顔写真を同館へ直接持参するか、メールで同館(iwamurojidoukan@gmail.com)へ
※メール本文に氏名・連絡先・写真に写っている人の名前を記載してください

募集

巻露店市場出店者募集

巻露店市場では、毎月1日・5日・10日・15日・20日・25日に野菜、果物、魚、乾物、花、種、衣料品などを販売しています。令和4年度に出店を希望する人はぜひ連絡してください。随時募集しています。
出店時間 午前8時～午後1時
場市道巻1-249号線(仲江通り、四ツ谷

通り～高校通り)
場産業観光課観光交流・商工室
(☎0256-72-8454)

催し

間瀬銅山跡の山野草を楽しむ

間瀬銅山跡のカタクリの群生などを楽しめます。
☎3月25日(金)午前9時半～正午
集合・解散場所 間瀬田ノ浦駐車場
☎先着20人
¥500円
☎電話で新潟市岩室観光施設いわむろや(☎0256-82-1066)へ

視覚障害サポーター養成講座

視覚障がいのある人への接し方がわからないなど、困っていることはありませんか。相手の気持ちに沿った配慮や対応を学びましょう。
☎5月14日(土)午前9時～午後4時半
場新潟ふれ愛プラザ(江南区亀田向陽1)
☎先着20人
持ち物 筆記用具
☎メールで新潟県視覚障害者情報センター(yamaguchi@ngt-shikaku.jp)へ

市報にいがた・区役所だよりアプリ「マチイロ」での配信を終了

スマートフォンなどのアプリ「マチイロ」での市報と区役所だよりの配信は、3月20日号で終了します。新潟市LINE公式アカウント＝下＝で「市報にいがた・区役所だより電子版」を登録すると、発行日にプッシュ通知を受け取ることができます。



☎広報課(☎025-226-2089) 市LINE公式アカウント